

# フューチャー・アースに対応した 今後の取組の在り方について

資料4

((2)政策／事業／研究の方向性／ファンディング)

## ＜求められるキャパシティ＞

FE初期設定報告書では、トランスディシプリナリー研究を通じて地球規模課題に対して取組む際、下記のような分野横断的なキャパシティが必要としている：

[地球環境研究において従来から重要とされてきたキャパシティ]

- ① 地球観測
- ② 観測情報の共有プラットフォーム
- ③ モデリング
- ④ 理論開発

[FE特有の新たなキャパシティ]

- ⑤ ステークホルダーとのコミュニケーションとエンゲージメント
- ⑥ スコーピング(公開討論やヒアリングを通じたステークホルダーからの意見聴取)および意見集約・取りまとめ
- ⑦ 能力開発・教育
- ⑧ 科学と政策の効果的なインターフェース

我が国はこれらの能力を如何に構築すべきか？

GEOSSやICSU-WDS等の既存の取組との関係はどのように定義すべきか？

## ＜ファンディングのあり方＞

FE初期設定報告書ではFEを推進する上で、下記の検討を奨励している：

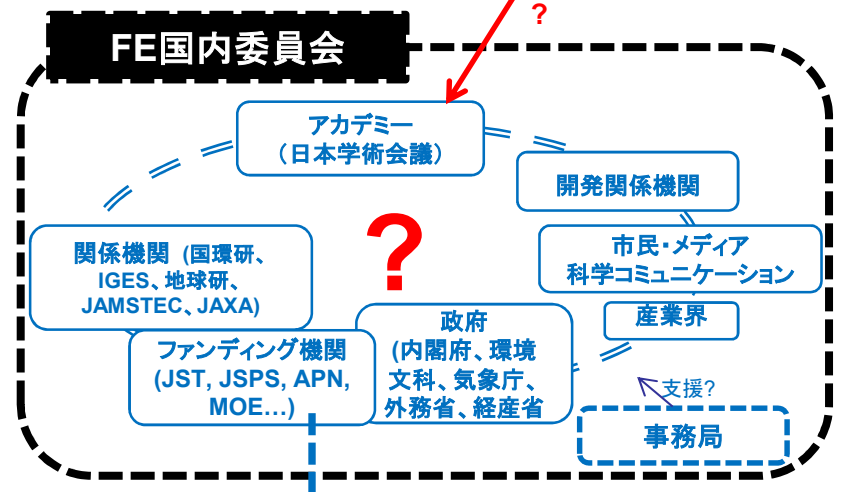
- ① 既存のファンディングの強化
- ② 開発援助機関、開発銀行、企業、ベンチャー、財団等と連携協力したイノベティブなファンディングのメカニズムの構築
- ③ 関係機関間のコーディネーション

課題解決型の研究を広くステークホルダーと共同企画(Co-design)、協働生産(Co-produce)していくためには、ファンディングをどう考えるべきか？

# FE初期設定報告書 で各国に推奨されて いる国内の体制



フューチャー・アースの推進  
に関する委員会(幹事会附置  
委員会)(6/28 設置決定)



FE関係事業 PD・PO等会議? → **国内ファンディング機関会議**  
(2013年内の開催を奨励、  
地域ファンディング会議も推奨)

・FEの運営へのインプット  
・ベストプラクティスの  
国際発信



・フィードバック

